

Canon

ワイヤレスファイルトランスミッター

WFT-E7 (Ver.2)

for EOS R

この使用説明書は、WFT-E7 (Ver.2) のファームウェアが Ver.1.4.0 以上であることを前提に説明しています。



使用説明書

はじめに

本機でできること

本機は、カメラに取り付けることでLAN機能を使用できるEOSカメラ用アクセサリです。

本機のLAN機能を使用すると、以下のことができます。



FTP転送 (p.31)

FTPサーバーへの画像転送



EOSUtility (p.49)

EOS Utilityでリモート撮影と画像の閲覧／取り込み

本使用説明書の表記について

- 本機は、世界各地域の電波に関する法律に準拠するため、使用可能な地域別に5種類のタイプ（A/B/C/D/Eタイプ）を販売しています（別紙参照）。本書の製品名称では、A/B/C/D/Eタイプを付けずに「WFT-E7（Ver.2）」として説明しています。
- 本書では、LAN接続を中継する無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを、「アクセスポイント」と表記しています。
- 本書は、LAN や FTP サーバーの環境が整っていることを前提に説明を行っています。これらの環境を整える方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。
- カメラの操作については、カメラの使用説明書をお読みになり、操作方法を理解していることを前提に説明しています。

本文中の絵文字について

〈〉：メイン電子ダイヤルを示しています。

〈〉：サブ電子ダイヤルを示しています。

〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈▶〉：〈〉十字キーの上下左右ボタンを示しています。

〈SET〉：設定ボタンを示しています。

* その他、本文中の操作ボタンや設定位置の説明には、ボタンやモニターの表示など、カメラで使われている絵文字を使用しています。

（p. **）：参照ページを示しています。

：使用する際に不都合が生じる恐れのある注意事項を記載しています。

：補足説明や補足事項を記載しています。

操作説明の前提について

- 電源スイッチが〈ON〉になっていることを前提に説明しています。
- メニュー機能やカスタム機能などが初期状態になっていることを前提に説明しています。

- 画像転送やリモート撮影、画像の閲覧などを行うためには、LANとFTPサーバーの設定方法に関する十分な知識が必要です。LANとFTPサーバーの設定方法に対して、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機を使用するために、FTPサーバーを含むネットワークに対して、誤った設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機を使用した結果生じた損害に対しましても、弊社では補償できませんので、併せてご了承ください。
- LAN 機能を使用する際には、お客様の責任と判断で必要なセキュリティーを設定してご使用ください。不正侵入等によって生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。

章目次

	はじめに	2
1	ネットワークの基本設定	17
2	FTPサーバーへの画像転送	31
3	EOS Utilityでリモート操作	49
4	接続の終了と再接続	53
5	接続設定の確認と操作	57
6	トラブルシューティング	69
7	資料	91

目次

はじめに	2
本使用説明書の表記について	3
章目次	5
安全上のご注意	8
各部の名称	10
電池を入れる／取り出す	12
家庭用電源を使用する	14
カメラに接続する	15
1 ネットワークの基本設定	17
事前準備	18
接続ウィザードを表示する	20
アクセスポイントの種類を確認する	22
WPS（PBC 方式）で接続する場合	23
WPS（PIN 方式）で接続する場合	24
検出したネットワークに手動で接続する場合	26
IP アドレスを設定する	29
2 FTP サーバーへの画像転送	31
FTP サーバーの接続設定を行う	32
1 枚ずつ転送する	37
まとめて転送する	42
キャプション付きで転送する	46
転送された画像を見る	47
3 EOS Utility でリモート操作	49
EOS Utility の接続設定を行う	50
EOS Utility を使う	52
4 接続の終了と再接続	53
接続を終了する	54
再接続する	55

5	接続設定の確認と操作	57
	接続設定画面を表示する	58
	設定を変更する	60
	設定内容の保存と読み込み	64
	機能設定画面について	66
6	トラブルシューティング	69
	エラー表示の対応	70
	無線機能での注意事項	86
	セキュリティについて	88
	ネットワークの設定を確認する	89
7	資料	91
	キャプションの作成と登録	92
	IP アドレスを手動で設定する場合	94
	ブラケット（別売）を使う	96
	主な仕様	97
	索引	101

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

- 指定外の電源は使わない。
 - 分解や改造をしない。
 - 強い衝撃や振動を与えない。
 - 破損したときは、内部に触れない。
 - 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
 - アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
 - 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
 - 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。
- 感電、破裂、火災の原因となります。

- バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。
 - ・ 指定外の製品で使わない。
 - ・ 熱したり、火中投入しない。
 - ・ 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 感電、破裂、火災の原因となります。

- 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。



注意

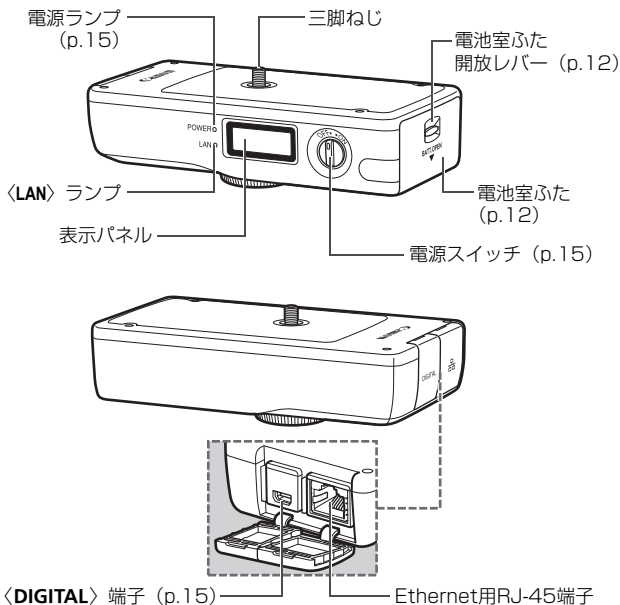
傷害を負う可能性がある内容です。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

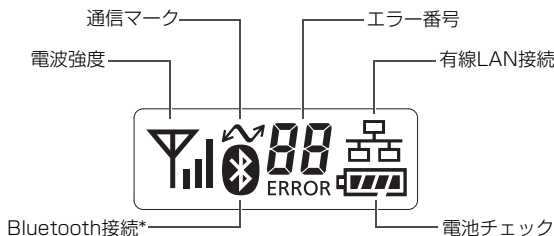
取り扱い上のご注意

- 本製品は精密機器です。落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品は防水構造になっていませんので、水中では使用できません。
- 水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風に当たったときは固くしぼったきれいな布でよくふきとってください。
- 本製品を磁石やモーターなどの強力な磁気を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。本製品の故障の原因となることがありますので、このような場所に本製品を放置しないでください。
- 本製品は有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、別紙の修理お問合せ専用窓口にご相談ください。
- 本製品の保管場所として実験室などのような薬品を扱う場所は、さび・腐食などの原因になるため避けてください。

各部の名称

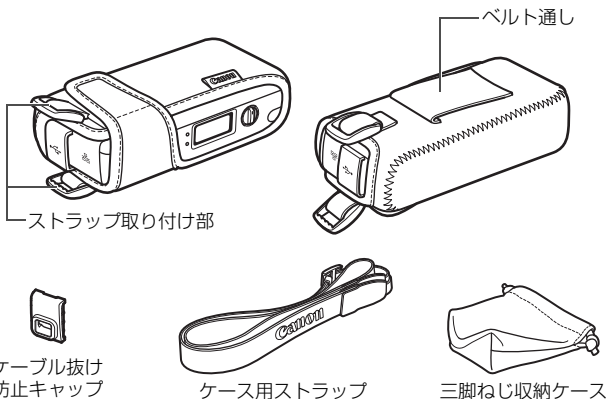


表示パネル



* EOS RではBluetooth接続機能は使用できません。

ケース他



インターフェースケーブル

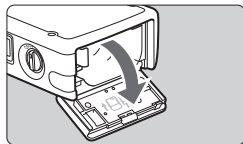
EOS Rと接続するときは、IFC-40AB III（40cm、別売）または IFC-150AB III（1.5m、別売）を使用してください。付属のインターフェースケーブルでは接続できません。

電池を入れる／取り出す

本機の電源として、バッテリーパックLP-E6N（またはLP-E6）を1個使用します。本機の電池を交換するときは、本機の電池室ふたを開ける前に必ず本機の電源スイッチを〈OFF〉にしてください。

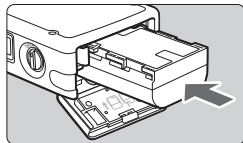
なお、電池と充電器は付属していませんので、お持ちでないときは、別途お買い求めください。

入れ方



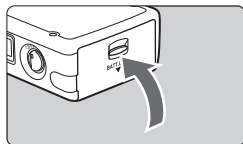
1 ふたを開ける

- レバーを押し下げて、ふたを開きます。



2 電池を入れる

- 電池接点の方から入れます。
- ロック位置までしっかりと入れてください。

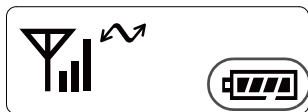


3 ふたを閉める

- 「カチッ」と音がするまで、ふたを押します。

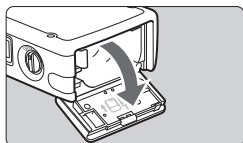
電池チェックについて

電池の残量は、本機の電源スイッチを〈ON〉にしたときに表示されます。電池マークが点滅（) したら、もうすぐ電池切れになります。



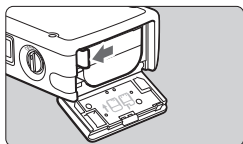
表示						
残量 (%)	100~70	69~50	49~20	19~10	9~1	0

取り出し方



1 ふたを開ける

- レバーを押し下げて、ふたを開きます。

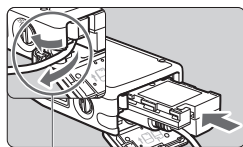


2 電池を取り出す

- 電池ロックレバーを矢印の方向に押し、ロックを外し、電池を取り出します。
- ショート防止のため、必ず電池に保護カバーを取り付けてください。

家庭用電源を使用する

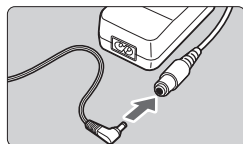
DCカプラー DR-E6（別売）とACアダプター AC-E6N（別売）を使用すると、家庭用電源を本機の電源として使うことができます。



DCカプラーコード
通し部

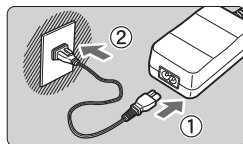
1 DCカプラーを入れる

- 電池室ふたを開け、DCカプラーコード通し部のカバーを開きます。
- DCカプラーをロック位置までしっかりと入れ、コードを通し部に入れます。
- ふたを閉じます。



2 DCカプラーのプラグを接続する

- DCカプラーのプラグと、ACアダプターのコネクターをしっかりと接続します。



3 電源コードを接続する

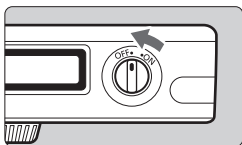
- 電源コードを図のように接続します。
- 使い終わったら、プラグをコンセントから抜いてください。

- ⚠
- 電源スイッチを〈ON〉にしたまま、電源コードやDCカプラーのプラグの抜き差しを行わないでください。
 - 本機とカメラそれぞれに家庭用電源を接続して、同時に使用しないでください。周辺の電子機器に影響を及ぼす可能性があります。詳しくは、弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

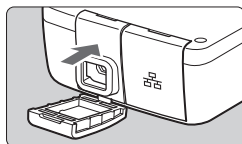
🔌 ACアダプターキット ACK-E6（別売）を使用することもできます。

カメラに接続する

本機とカメラの接続には、必ず本機に付属しているインターフェースケーブルをお使いください。

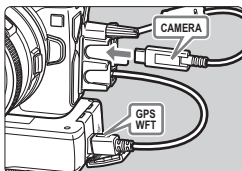


- 1** 本機とカメラの電源スイッチを
〈OFF〉にする



- 2** 本機の〈DIGITAL〉端子にキャップ
を取り付ける

- ケーブル抜け防止キャップを本機に取り付けます。



- 3** 本機とカメラを接続する

- インターフェースケーブルは IFC-40AB III (40cm、別売) または IFC-150AB III (1.5m、別売) を使用してください。
- ケーブルプロテクターをカメラに取り付け、ケーブルをクランパーに通します。
- ケーブルプロテクターの使い方については、カメラの使用説明書を参照してください。

- 4** 本機とカメラの電源スイッチを
〈ON〉にする

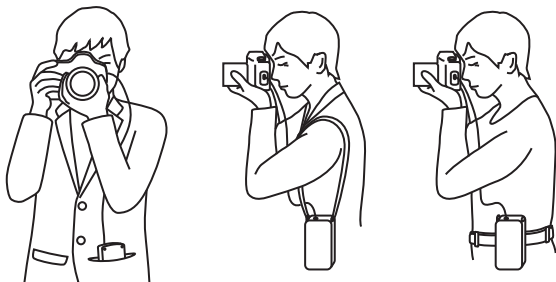
- ➔ 本機の〈POWER〉ランプが点灯し、本機の表示パネルに〈〉が表示されます。

- ケーブルは、本機とカメラの電源スイッチを〈OFF〉にしてから抜いてください。
- 動画撮影時に、本機の電源 ON/OFF や接続ケーブルの抜き差しをすると、動画撮影が終了します。
- 無線機能の使用中は、内蔵マイク／外部マイクにかかわらずノイズが録音されることがあります。動画撮影中は無線機能を使用しないことをおすすめします。

 本機の〈POWER〉ランプが点滅する場合は、本機とカメラが正しく接続されていません。接続を確認してください。

ケースとストラップの使用例

IFC-150AB IIIを使用して、本機とカメラを接続します。



1

ネットワークの基本設定

カメラのモニターに表示されるメニュー画面を使用して、ネットワークの基本設定を行います。

事前準備

● [FTP転送]

撮影した画像をFTPサーバーに転送することができます。

撮影時に自動転送できるほか、撮影後に画像を選択して転送することもできます。

使用できるパソコンのOSについて

[FTP転送]を使用するためには、以下のOSがインストールされたパソコンが必要です。また、そのパソコンをあらかじめFTPサーバーとして機能させておく必要があります。

- ・ Windows 10
- ・ Windows 8、Windows 8 Pro、Windows 8.1、Windows 8.1 Pro
- ・ Windows 7 (Professional/Enterprise/Ultimate の32bit/64bit システム用)

パソコンをFTPサーバーとして機能させる方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。

なお、以下のOSはFTPサーバー機能がないため、FTP転送はできません。

- ・ Windows 7 Home Premium

● 【EOSUtility】

EOS用ソフトウェアのEOS Utilityで行うリモート撮影を、LANで行うことができます。

インターフェースケーブルの代わりにLANを利用する仕組みなので、リモート撮影だけでなく、EOS Utilityで行うことができる、ほぼすべてのカメラ操作が可能です。

EOS用ソフトウェアのEOS Utilityがインストールされたパソコンが必要です。

アクセスポイントを使用して接続する場合

アクセスポイントを使用して接続する場合は、あらかじめ、接続する機器をアクセスポイントに接続しておいてください。

● 動画の無線LAN転送について

動画は1ファイルあたりの容量が大きく、無線LANでは大容量ファイルの送信に時間がかかります。86ページの記載内容を参考にして、各機器がアクセスポイントや本機と安定して通信できる環境を構築しておいてください。

接続ウィザードを表示する

この項では、接続操作ガイドの流れに沿って説明します。途中、エラーが表示されたときは、6章の『トラブルシューティング』（p.69）を参照して、設定内容を見直してください。

- 接続操作ガイドでの設定中にシャッターボタンなどを押すと、接続操作ガイドが終了しますので、設定が終わるまでシャッターボタンなどを押さないよう注意してください。

1 本機の電源スイッチを〈ON〉にする

2 [F5: WFTの設定] を選ぶ



3 [接続設定] を選ぶ



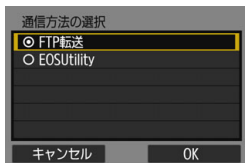
4 [SET*] を選ぶ





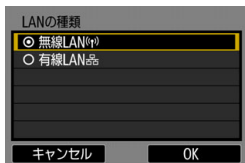
5 [接続ウィザード] を選ぶ

- ➔ 本機の〈LAN〉ランプが緑色に点滅します。



6 通信方法を選ぶ

- 18 ページを参考にして、通信方法を選びます。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



7 LANの種類を選ぶ

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

[無線LAN] を選んだ場合

- [ネットワークを選択] 画面が表示されます。ここから先の操作は、22 ページを参照してください。

[有線LAN] を選んだ場合

- [IPアドレス設定] 画面が表示されます。ここから先の操作は、29 ページを参照してください。
- LANケーブルは、カテゴリー 5e以上の「STPケーブル」を使用してください。(STP：Shielded Twisted Pairの略)

アクセスポイントの種類を確認する

アクセスポイントを使用して接続するときは、お使いのアクセスポイントが、Wi-Fi機器同士を簡単に接続することができるWPS*に対応しているか確認してください。

お使いのアクセスポイントがWPSに対応しているか分からないときは、アクセスポイントの使用説明書などを参照して確認してください。

* Wi-Fi Protected Setup (ワイファイ プロテクトド セットアップ) の略

● WPSに対応している場合

下記の2種類の接続方法が選択できます。WPS (PBC方式) の方が簡単に接続できます。

- ・ WPS (PBC方式) で接続する場合：p.23からの操作を行ってください。
- ・ WPS (PIN方式) で接続する場合：p.24からの操作を行ってください。

● WPSに対応していない場合

- ・ 検出したネットワークに手動で接続する場合：p.26からの操作を行ってください。

アクセスポイントの暗号化について

本機は、下記の「**認証方式**」と「**暗号化の設定**」に対応しています。そのため、検出したネットワークに手動で接続する場合は、アクセスポイントの暗号化は、下記のいずれかの設定になっている必要があります。

- 「**認証方式**」：オープン、共有キー、WPA/WPA2-PSK
- 「**暗号化の設定**」：WEP、TKIP、AES



- アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、接続できない場合があります。ステルス機能を無効にしてください。
- ネットワーク管理者がいるネットワークに接続するときは、ネットワーク管理者に設定の詳細をお問い合わせください。



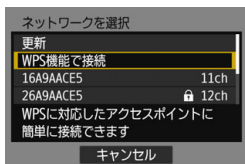
お使いのネットワークでMACアドレスのフィルタリングをしているときは、アクセスポイントに本機のMACアドレスを登録してください。MACアドレスは「**機能設定**」画面 (p.66) で確認できます。

WPS（PBC方式）で接続する場合

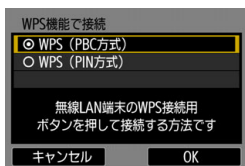
この項では22ページからの続きを説明しています。

WPSに対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PBC方式（プッシュボタン接続方式）では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。

- 周囲に複数のアクセスポイントが稼動していると、うまく接続できないことがあります。このような場合は、[WPS(PIN方式)]で接続してください。
- アクセスポイントに付いているWPS用ボタンの場所を、あらかじめ確認しておいてください。
- 接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

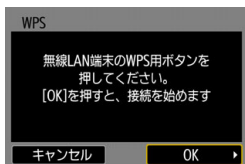


1 [WPS機能で接続] を選ぶ



2 [WPS (PBC方式)] を選ぶ

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



3 アクセスポイントに接続する

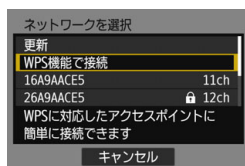
- アクセスポイントのWPS用ボタンを押します。ボタンの場所とボタンを押す時間は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
➔ アクセスポイントとの接続が完了すると、[IPアドレス設定] 画面 (p.29) が表示されます。

WPS (PIN方式) で接続する場合

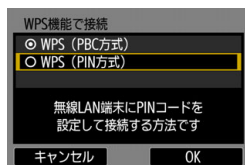
この項では22ページからの続きを説明しています。

WPSに対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PIN方式（ピンコード接続方式）では、カメラが指定する8桁の識別番号をアクセスポイントに設定して接続します。

- 周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、共通の識別番号で比較的確実に接続することができます。
- 接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。



1 【WPS機能で接続】を選ぶ



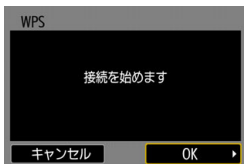
2 【WPS (PIN方式)】を選ぶ

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



3 PINコードを設定する

- カメラのモニターに表示される 8 桁の PIN コードをアクセスポイントに設定します。
- アクセスポイントへの PIN コードの入力方法は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- PIN コードを設定したら [OK] を選び、〈SET〉を押します。



4 アクセスポイントに接続する

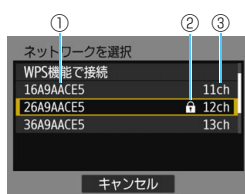
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
- ➡ アクセスポイントとの接続が完了すると、[IPアドレス設定] 画面 (p.29) が表示されます。

検出したネットワークに手動で接続する場合

この項では22ページからの続きを説明しています。

近くで稼動中のアクセスポイントの一覧から、接続するアクセスポイントのSSID（またはESS-ID）を選んで接続します。

アクセスポイントを選ぶ



1 アクセスポイントを選ぶ

- 〈▲〉 〈▼〉 で、アクセスポイントの一覧から、接続するアクセスポイントを選びます。

①SSIDを表示

②アクセスポイントが暗号化されているときはアイコンを表示

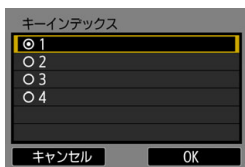
③使用しているチャンネルを表示

【更新】 と 【手動設定】 について

- 【更新】 や 【手動設定】 は、手順1の画面をスクロールすると表示されます。
- 【更新】 を選ぶと、アクセスポイントを再検索します。
- 【手動設定】 を選ぶと、手動でアクセスポイントに関する設定を行うことができます。仮想キーボードでSSIDを入力してから、表示される内容に従って設定してください。

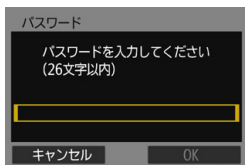
アクセスポイントの暗号キーを入力する

- アクセスポイントに設定されている暗号キー（パスワード）を入力します。設定されている暗号キーについては、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- 下記の手順2～3で表示される画面は、アクセスポイントに設定されている認証方式と暗号方式によって異なります。
- 手順2～3が表示されずに、[IPアドレス設定] 画面が表示されたときは、29ページに進んでください。



2 キーインデックスを選ぶ

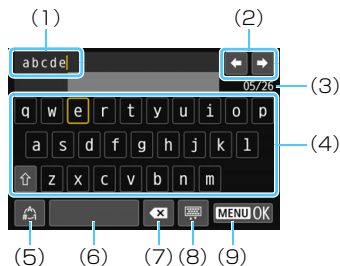
- [キーインデックス] の画面は、アクセスポイントの暗号方式がWEPのときに表示されます。
- アクセスポイントに設定されているキーインデックスの番号を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと、次の画面に進みます。



3 暗号キーを入力する

- 〈SET〉を押して仮想キーボード (p.28) を表示し、暗号キーを入力します。
- ➔ アクセスポイントとの接続が完了すると、[IPアドレス設定] 画面 (p.29) が表示されます。

仮想キーボードの操作方法について



(1) 文字を入力するエリア（入力エリア）

(2) 入力エリアでのカーソルの移動

(3) 入力した文字数/ 入力できる文字数

(4) キーボード

(5) 入力モードの切り換え

(6) スペース

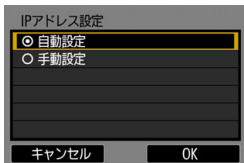
(7) 入力エリアでの文字の削除

(8) キーボードの種類の変更

(9) 入力の終了

- (2)、(4) ～ (8) は〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈▶〉を押して移動します。
- 入力する文字の決定や、入力モードの切り換えなどを行うときは〈SET〉を押します。

IPアドレスを設定する



【自動設定】を選ぶ

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、通信方法に応じた設定画面が表示されます。
- 【自動設定】でエラーが表示されたときや手動で設定するときには、94ページを参照してください。

通信方法に応じた設定を行う

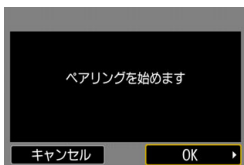
ここからは、通信方法に応じた設定画面になります。選択した通信方法の説明ページをお読みください。

FTP転送



2章 (p.31)

EOSUtility



3章 (p.49)



IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

[illegible]

2

FTP サーバーへの 画像転送

FTPサーバーに接続して、カメラ内の画像をパソコンに転送することができます。

FTP転送では、撮影時にFTPサーバーへ自動転送できるほか、撮影後にまとめて転送することもできます。

- この章では、1章からの続きを説明しています。

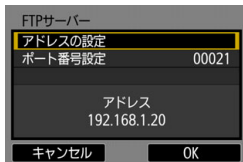
FTPサーバーの接続設定を行う

この項では、1章からの続きを説明しています。



1 FTPモードを選ぶ

- ルート証明書を使用して FTP 転送のセキュリティを行うときは、[FTPS] を選びます。
- ルート証明書の設定については、35 ページを参照してください。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



2 [アドレスの設定] を選ぶ

→ 仮想キーボードが表示されます。



3 FTPサーバーのサーバー名、またはIPアドレスを入力する

- IPアドレスを[自動設定]にしているときやDNSアドレスを[手動設定]にしているときは、左の画面が表示されます。
- 画面の操作は、『仮想キーボードの操作方法について』(p.28)を参照してください。
- DNSアドレスを[使わない]設定のときは、左の画面が表示されます。
- 〈☀〉を回して上側の入力場所を選び、〈◀〉〈▶〉で入力する数値を選びます。〈SET〉を押すと選んだ数値が入力されます。



FTPサーバー

アドレスの設定
ポート番号設定 00021

アドレス
192.168.1.20

キャンセル OK

4 ポート番号を設定する

- [ポート番号設定] は、通常00021を設定します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

パッシブモード

☐ 使う
☒ 使わない

キャンセル OK

5 パッシブモードを設定する

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。
- 手順8で「エラー 41：FTPサーバーに接続できません」が表示されたときは、[パッシブモード] を [使う] 設定にすると解決することがあります。

プロキシサーバー

プロキシサーバー 使わない

アドレスの設定
ポート番号設定 10021

アドレス
0.0.0.0

キャンセル OK

6 プロキシサーバーを設定する

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

ログオン方法

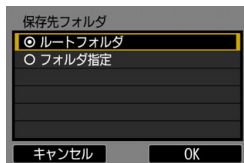
☒ 匿名
☐ ログオン・パスワード

ログオン名
anonymous

キャンセル OK

7 ログオン方法を設定する

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



8 保存先フォルダを設定する

- [ルートフォルダ] を選択すると、FTPサーバーで設定したルートフォルダの中に保存されます (p.47)。
 - [フォルダ指定] を選択すると、ルートフォルダの中にある保存先フォルダを指定することができます。フォルダがないときは、自動作成されます。
 - [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。
- ➔ 本機の〈LAN〉ランプが緑色に点灯します。



9 [OK] を選ぶ

- 〈SET〉を押すと接続の完了画面が表示されます。



10 [OK] を選ぶ

- 〈SET〉を押すと [WFTの設定] 画面に戻ります。
- 設定した内容はカメラに保存されます。本機には保存されません。

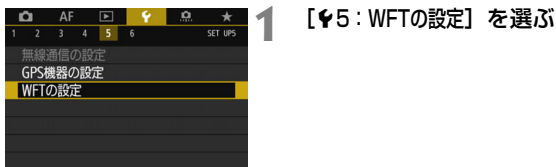
これでFTP転送の接続設定は完了です。

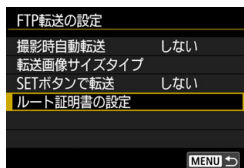
画像転送中は、本機の〈LAN〉ランプが緑色に点滅します。

FTPS用のルート証明書の読み込み

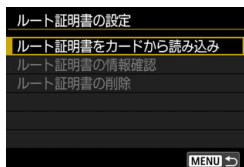
接続設定時に、FTPモードを[FTPS]に設定したときは、FTPサーバーと同じルート証明書をカメラに読み込む必要があります。

- カメラに読み込むことができるのは、ファイル名が「**ROOT.CER**」、「**ROOT.CRT**」、「**ROOT.PEM**」のルート証明書のみです。
- カメラに読み込むことができるルート証明書ファイルは1つだけです。あらかじめ、ルート証明書ファイルの入ったカードを入れてから操作してください。

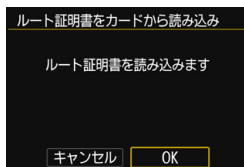




4 【ルート証明書の設定】を選ぶ



5 【ルート証明書をカードから読み込み】を選ぶ



6 【OK】を選ぶ

- ルート証明書が読み込まれます。
- 確認画面で【OK】を選ぶと、【ルート証明書の設定】画面に戻ります。

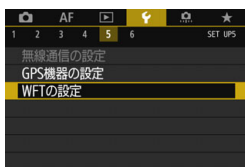
- 手順5の画面で【ルート証明書の削除】を選ぶと、カメラに読み込んだルート証明書を削除することができます。また、【ルート証明書の情報確認】を選ぶと、発行者や発行先、有効期限などの情報が確認できます。

1枚ずつ転送する

撮影時に自動転送する

撮影した画像をすぐにFTPサーバーへ自動転送します。なお、転送中も通常どおり静止画撮影を行うことができます。

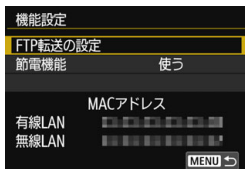
- 必ずカードを入れて撮影してください。画像が記録されない状態で撮影すると、画像が転送されません。
- 動画は撮影時に自動転送できません。撮影後、42～46ページで説明している方法で転送してください。



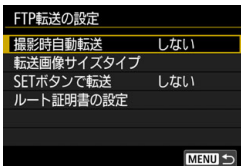
1 【WFTの設定】を選ぶ



2 【機能設定】を選ぶ



3 【FTP転送の設定】を選ぶ



4 【撮影時自動転送】を選ぶ

- 【する】を選びます。



5 撮影する

- 撮影した画像が FTP サーバーに転送されます。



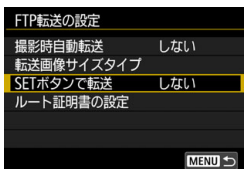
画像転送中に画像を消去することはできません。



- 連続撮影したときは、撮影した順にFTPサーバーへ画像が転送されます。
- 撮影した画像は、カードにも記録されます。
- 転送が中断した画像や転送に失敗した画像は、通信状態が回復すると自動的に再転送されます (p.41)。なお、あとからまとめて再転送することもできます (p.42)。

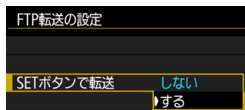
再生して転送する

画像を再生して、〈SET〉を押すだけで転送することができます。なお、転送中も通常どおり静止画撮影を行うことができます。



1 [SETボタンで転送] を選ぶ

- FTP 転送の設定画面で、[SET ボタンで転送] を選びます。
- [する] を選びます。



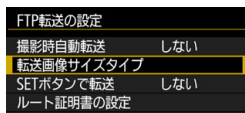
2 画像を選ぶ

- カメラの 〈▶〉 ボタンを押します。
- 転送する画像を選び、〈SET〉を押すとその画像が転送されます。
- 動画は転送できません。動画を選んで〈SET〉を押すと、動画再生パネルが表示されます。

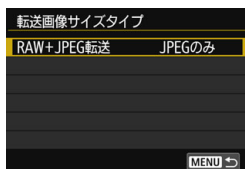
転送する画像のタイプを設定する

RAW+JPEGで撮影した画像は、どの画像を転送するかを設定することができます。

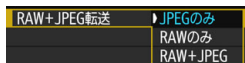
38ページの手順4で「転送画像サイズタイプ」を選ばと、転送する画像のタイプを設定することができます。



1 「転送画像サイズタイプ」を選ぶ



2 転送する画像のタイプを選ぶ



転送失敗画像の自動再転送について



転送に失敗すると、本機の〈LAN〉ランプが赤色に点滅します。この場合は、〈MENU〉ボタンを押して〔F5〕タブの〔WFTの設定〕を選び、〈SET〉を押してください。左図の画面が表示されますので、エラー番号を確認し、70ページを参照してエラーの原因を取り除いてください。

エラーの原因が取り除かれると、転送に失敗した画像が自動的に再転送されます。この自動再転送機能は、撮影時自動転送のときだけでなく、撮影後の画像をFTP転送するときも働きます。なお、転送をキャンセルしたり、本機やカメラの電源を切ったときは、自動再転送されません。42ページを参照して転送してください。



〔機能設定〕画面（p.66）で節電機能を設定すると、FTP転送後、FTPサーバーからログオフしてLAN接続を休止させることができます。

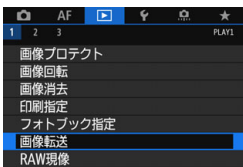
まとめて転送する

撮影後に、複数の画像を任意に選択しての転送や、未転送画像、転送失敗画像の一括転送を行うことができます。また、キャプション（見出し）を付けて画像を転送することができます。

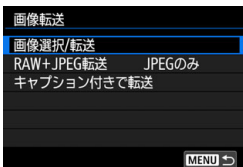
なお、転送中も通常どおりに静止画撮影を行うことができます。

転送する画像を選択する

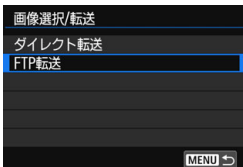
● 画像選択



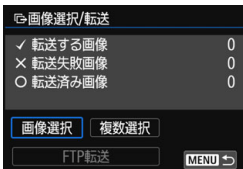
1 【▶1：画像転送】を選ぶ



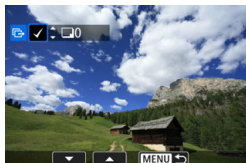
2 【画像選択/転送】を選ぶ



3 【FTP転送】を選ぶ

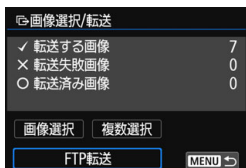


4 【画像選択】を選ぶ



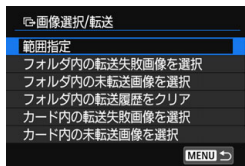
5 転送する画像を選び

- 〈◀〉〈▶〉で転送する画像を選び、〈SET〉を押します。
- 〈▲〉〈▼〉で画面の左上に〔✓〕を表示させ、〈SET〉を押します。
- 〈Q〉ボタンを押して〈🔄〉を左に回していくと、3画像表示になります。〈🔄〉を右に回すと、1枚表示に戻ります。
- 他に転送したい画像があるときは、手順5を繰り返します。
- 画像の選択が終了したら〈MENU〉を押します。



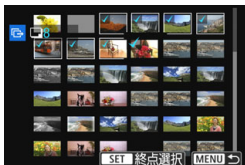
6 画像を転送する

- [FTP転送] を選び 〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選ぶと、画像が転送されます。
- [複数選択] で選択した画像も、この操作で転送します。



- 撮影後の動画も転送することができます。
- [画像選択] を選んだときに、画面の左上に表示されるマークで転送履歴を確認することができます（マークなし：未選択画像、✓：転送する画像、×：転送失敗画像、○：転送済み画像）。
- 45ページの [RAW+JPEG転送]、および上記の手順1～5の操作は、FTPサーバーに接続されていない状態でも行うことができます。

複数選択



● 範囲指定

〔複数選択〕の〔範囲指定〕を選びます。始めの画像（始点）と終わりの画像（終点）を選ぶと、始点から終点までの範囲の画像に〔✓〕が表示され、1 画像 1 枚で転送指定されます。

● フォルダ内

〔フォルダ内の未転送画像を選択〕を選ぶと、選択したフォルダに入っている、未転送画像が選択されます。

〔フォルダ内の転送失敗画像を選択〕を選ぶと、選択したフォルダに入っている、転送に失敗した画像が選択されます。

〔フォルダ内の転送履歴をクリア〕を選ぶと、選択したフォルダに入っている画像の転送履歴が消去されます。転送履歴を消去してから、〔フォルダ内の未転送画像を選択〕を選ぶと、フォルダに入っているすべての画像をもう一度転送することができます。

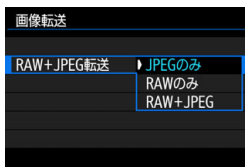
● カード内

〔カード内の未転送画像を選択〕〔カード内の転送失敗画像を選択〕〔カード内の転送履歴をクリア〕の内容は、「フォルダ内」の内容を参照してください。



画像転送中でも撮影を行うことができます。

RAW+JPEGで撮影した画像を転送するとき



RAW+JPEGで撮影した画像は、どの画像を転送するかを設定することができます。

42ページの手順2で [RAW+JPEG転送] を選び、[JPEGのみ] [RAWのみ] [RAW+JPEG] から選びます。

- [RAW+JPEG転送] の設定は、[**5**: WFT の設定] → [機能設定] → [FTP転送の設定] → [転送画像サイズタイプ] の [RAW+JPEG転送] の設定と連動して切り換わります (p.40)。

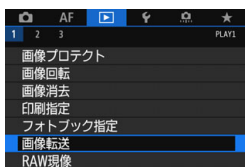


画像転送中は操作できないメニュー項目があります。

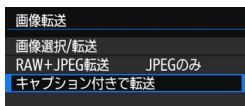
キャプション付きで転送する

〔キャプション付きで転送〕を選ぶと、登録したキャプションを画像に付加して、1枚ずつ転送することができます。印刷する枚数などを画像転送先に伝えたいときなどに便利です。なお、カメラに保存された画像にもキャプションが付加されます。

- 画像に付加されたキャプションは、Exif 情報のユーザーコメント欄で確認することができます。
- キャプションの作成／登録方法は、92ページを参照してください。



1 〔▶1：画像転送〕を選ぶ



2 〔キャプション付きで転送〕を選ぶ → 最後に再生した画像が表示されます。



3 キャプションを設定する

- 〔キャプション〕を選んで〈SET〉を押し、表示される画面でキャプションの内容を選びます。



4 〔転送〕を選ぶ

- 画像がキャプション付きで送信されます。送信が終了すると〔画像転送〕画面に戻ります。

❗ 〔キャプション付きで転送〕画面では、画像を任意に選択することはできません。ほかの画像をキャプション付きで転送するときは、その画像を再生してからこの操作を行ってください。

転送された画像を見る

FTPサーバーに転送された画像は、FTPサーバーで設定した下記のフォルダに保存されています。

FTPサーバーの転送先フォルダについて

- FTPサーバーを初期設定で使用しているときは、[Cドライブ] → [lnetpub] フォルダ → [ftproot] フォルダの中に画像、または画像が保存されているフォルダが入っています。
- FTPサーバーの設定で転送先のルートフォルダが変更されているときは、FTPサーバーの管理者に問い合わせてください。

画像が保存されているフォルダについて

初期設定では、FTPサーバーで設定したルートフォルダの中に、「B/DCIM/100EOS_R」というようなフォルダ階層を自動作成して画像を保存します。

[illegible]

3

EOS Utility で リモート操作

EOS Utilityを利用して、カメラ内の画像を閲覧したり、パソコンへ保存することができます。また、EOS Utilityでカメラをリモート操作して撮影したり、カメラの設定を変更することができます。

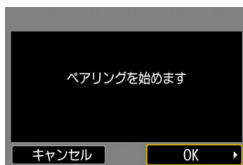
- この章では、1章からの続きを説明しています。
- あらかじめ、パソコンにEOS Utilityをインストールしてから接続設定を行ってください (p.19)。

EOS Utilityの接続設定を行う

この項では、1章からの続きを説明しています。

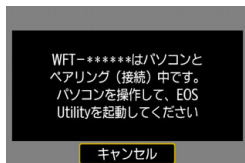
- 接続するためにはパソコンの操作が必要です。詳しくは、パソコンの使用説明書を参照してください。

カメラ側の操作-1



1 [OK] を選ぶ

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、下記のメッセージ画面が表示されます。なお、「*****」は、本機のMACアドレス下6桁です。



パソコン側の操作



2 パソコンでEOS Utilityを起動する

3 EOS Utilityの[Wi-Fi/LAN接続ペアリング]をクリックする

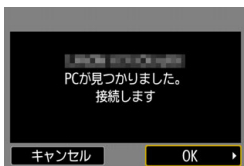
- ファイアウォールに関するメッセージが表示されたときは、[はい] を選びます。



4 パソコンで【接続】をクリックする

- 接続するカメラを選択して、【接続】をクリックします。
- 複数のカメラが表示されるときは、カメラのモニターに表示されたMACアドレスで接続するカメラを特定します。
- 本機のMACアドレスは、【機能設定】画面 (p.66) でも確認できます。

カメラ側の操作-2



5 【OK】を選ぶ

- 手順4で【接続】操作をしたパソコンが見つかると、左の画面が表示されます。
- 【OK】を選んで〈SET〉を押すと、接続の完了画面が表示されます。



6 【OK】を選ぶ

- 〈SET〉を押すと【WFTの設定】画面に戻ります。
- ➔ 本機の〈LAN〉ランプが緑色に点灯します。
- 設定した内容はカメラに保存されます。本機には保存されません。

これでEOS Utilityとの接続設定は完了です。

- 一度ペアリングを行った「本機を取り付けたカメラとパソコンの組み合わせ」で、設定を変えずに使い続ける場合、次回からはペアリングを行う必要はありません。

EOS Utilityを使う

EOS Utilityの操作方法については、EOS Utility使用説明書を参照してください。リモート撮影だけでなく、さまざまなカメラ操作が可能です。



- 接続中は操作できないメニュー項目があります。
- リモート撮影では、AF速度が遅くなることがあります。
- 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、レリーズのタイミングが遅れることがあります。
- リモートライブビュー撮影では、インターフェースケーブル接続時よりも通信速度が遅くなるため、動きのある被写体を滑らかに表示することはできません。

4

接続の終了と再接続

接続を終了する



1 【WFTの設定】を選ぶ



2 【接続設定】を選ぶ

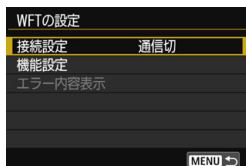


3 【通信切】を選ぶ
→ 接続が終了します。

再接続する



1 [WFTの設定] を選ぶ

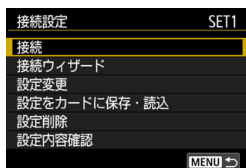


2 [接続設定] を選ぶ



3 [SET*] を選ぶ

- 保存した設定の中から、接続する設定を選びます。



4 [接続] を選ぶ

- ➔ 再接続します。
- 接続先の機器で設定を変更しているときは、カメラに接続するように設定し直してください。

[illegible]

5

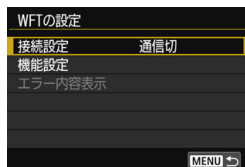
接続設定の確認と操作

接続設定画面を表示する

カメラに保存されている接続設定の確認や変更、削除を行います。



1 【5：WFTの設定】を選ぶ

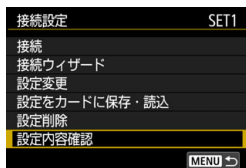


2 【接続設定】を選ぶ



3 【SET*】を選ぶ

- 保存した設定の中から、確認する設定を選びます。



4 設定の確認や変更を行う

- 項目を選んで〈SET〉を押し、表示される画面で設定の確認や変更を行います。

【接続】 (p.55)

再接続するときに選びます。確認画面で〔OK〕を選んで〈SET〉を押すと接続します。

【接続ウィザード】

接続ウィザードで接続設定を行います。表示される画面にしたがって接続設定を行ってください。既に設定が保存されているときは、設定が上書き保存されます。

【設定変更】 (p.60)

カメラに保存されている接続設定の内容を変更します。

【設定をカードに保存・読込】 (p.64、65)

カメラに保存されている接続設定をカードに保存したり、カードに保存した接続設定をカメラに読み込むことができます。

【設定削除】

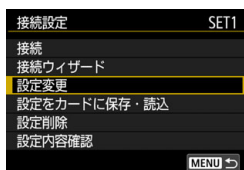
カメラに保存されている接続設定を削除します。確認画面で〔OK〕を選ぶと、設定が削除されます。

【設定内容確認】

カメラに保存されている接続設定の内容を確認します。〔設定内容確認〕を選ぶと、設定内容が表示されます。

設定を変更する

接続ウィザードで設定した内容を変更することができます。また、接続ウィザードでは設定できない、FTPサーバーに同名のファイルが転送されたときの設定などを行うことができます。



1 【設定変更】を選ぶ

- 59ページの手順4で表示した【接続設定】画面で【設定変更】を選びます。



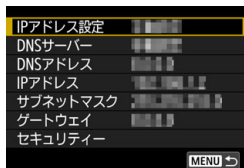
2 変更する項目を選ぶ

- 項目を選んで〈SET〉を押すと、設定画面が表示されます。

【セット名】

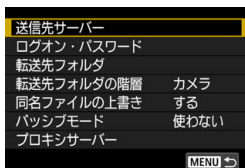
設定に名前を付けることができます。【セット名】を選び、仮想キーボード (p.28) で文字を入力します。

【TCP/IP】



IPアドレスの設定やセキュリティの設定など、ネットワークに関する設定を行います。

〔FTPサーバー〕



FTPサーバーに接続する設定で表示されます。FTPサーバーに関する設定を行います。

IPsecについて

〔TCP/IP〕の〔セキュリティ〕で設定します。

インターネットで暗号化通信を行なうための規格で、無線／有線LAN共に有効なセキュリティ機能です。この機能を使うためには、パソコンのネットワーク設定でIPsec機能を有効にする必要があります。本機のIPsecは、トランスポートモードのみのサポートで、暗号方式は「3DES」または「AES」、認証方式は「SHA-1」を使用しています。なお、〔IPsecの設定〕の〔接続先のアドレス〕には、接続するパソコンのIPアドレスを設定してください。

転送先フォルダの階層について

〔FTPサーバー〕の〔転送先フォルダの階層〕で設定します。

〔カメラ〕を選択すると、転送先のルートフォルダ内に、カメラと同じ「B/DCIM/100EOS_R」というようなフォルダ階層を自動作成して、その中に画像を保存します。なお、〔転送先フォルダ〕の設定でルートフォルダの下にフォルダを作成しているときは、そのフォルダの中に「B/DCIM/100EOS_R」というようなフォルダ階層を自動作成して、その中に画像を保存します。

〔初期設定〕を選択すると、転送先のルートフォルダを開いたところに画像を保存します。なお、〔転送先フォルダ〕の設定でルートフォルダの下にフォルダを作成しているときは、そのフォルダの中に画像を保存します。

同名ファイルの上書きについて

〔FTPサーバー〕の〔同名ファイルの上書き〕で設定します。

〔同名ファイルの上書き〕を〔しない〕に設定している場合

FTPサーバーの保存先フォルダに同名ファイルが存在する場合は、ファイル名の最後にアンダーバー付きの数字（例：IMG_0003_1.JPG）が付けられて保存されます。

転送失敗画像を再転送する場合

同名ファイルの上書きをする設定で、転送失敗画像を再転送すると、上書き保存されない場合があります。この場合は、ファイル名の最後にアンダーバー付きのアルファベットと数字（例：IMG_0003_a1.JPG）が付けられて保存されます。

パッシブモードについて

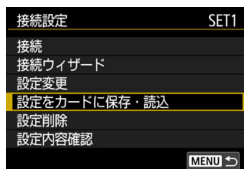
〔FTPサーバー〕の〔パッシブモード〕で設定します。

ネットワーク環境の中にファイアウォールが設置されているときに設定します。「エラー 41：FTPサーバーに接続できません」という状態のときに、パッシブモードを〔使う〕設定にすると、FTPサーバーに接続できることがあります。

設定内容の保存と読み込み

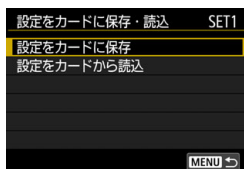
接続設定をカードに保存して、ほかのカメラに適用することができます。また、ほかのカメラで設定した接続設定を、使用するカメラに適用することができます。

設定内容を保存する



1 【設定をカードに保存・読込】を選ぶ

- 59ページの手順4で表示した【接続設定】画面で【設定をカードに保存・読込】を選びます。



2 【設定をカードに保存】を選ぶ

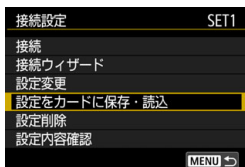


3 【OK】を選ぶ

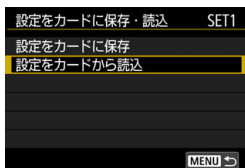
- ファイル名は、WFTNPF01～10.NIFまでカメラが自動的に設定します。〈INFO〉ボタンを押すと、ファイル名を任意に設定することができます。
- ➔ カードに設定内容が保存されます。
- 設定内容のファイルは、カードを開いたところ（ルートディレクトリ上）に保存されます。

❗ 1つのカードにカメラで保存できる設定内容のファイルは、10個までです。11個以上カードに保存する場合は、別のカードに保存してください。

設定内容を読み込む



- 1 **「設定をカードに保存・読み込み」を選ぶ**
- 59ページの手順4で表示した「接続設定」画面で「設定をカードに保存・読み込み」を選びます。



- 2 **「設定をカードから読み込み」を選ぶ**



- 3 **設定ファイルを選ぶ**
- ➔ 使用するネットワーク環境に合った設定ファイルを選びます。



- 4 **「OK」を選ぶ**
- ➔ 選択しているセット番号に、設定ファイルの内容が読み込まれます。

❗ パソコンなどで、カードに設定内容のファイルを11個以上保存しても、カメラの読み込み画面では10個までしか表示できません。11個以上読み込む場合は、先に読み込んだ設定内容のファイルが入っていないカードを使用して、残りの設定内容のファイルを読み込んでください。

機能設定画面について

【機能設定】画面ではFTP転送の設定、節電機能の設定、MACアドレスの確認を行うことができます。

機能設定画面を表示する



1 【⚡5：WFTの設定】を選ぶ



2 【機能設定】を選ぶ
→ 【機能設定】画面が表示されます。



【FTP転送の設定】（p.35～41）

FTP転送に関する設定を行います。

【節電機能】

有線LANで接続しているときに機能します。無線LANで接続しているときは、設定に関わらず節電機能は有効です。

● FTP転送

一定期間転送を行わないと、FTPサーバーからログオフしてLANを休止します。画像転送が行われる状態になると、自動的に再接続します。

● EOSUtility

一定期間通信を行わないと、通信速度を落として節電します。

【MACアドレス】

本機のMACアドレスを確認することができます。

[illegible]

6

トラブルシューティング



一部のパソコンとの組み合わせにおいて、アドホック接続での転送速度が極端に遅くなる場合があります。詳しくは、弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

エラー表示の対応

カメラのモニターに本機のエラーが表示されたときは、この章の対応例を参考にしてエラーの原因を取り除いてください。エラー発生時は本機の〈LAN〉ランプが点滅し、表示パネルにエラー番号が表示されます。なお、エラー内容は、メニューの[WFTの設定] → [エラー内容表示]でも確認できます。

下記のエラー番号をクリックすると該当ページにジャンプします。

11 (p.71)	12 (p.71)			
21 (p.72)	22 (p.73)	23 (p.74)	24 (p.74)	
41 (p.76)	42 (p.78)	43 (p.78)	44 (p.78)	45 (p.79)
46 (p.80)	47 (p.80)			
61 (p.81)	62 (p.81)	63 (p.82)	64 (p.82)	65 (p.83)
66 (p.83)	67 (p.84)	68 (p.84)	69 (p.84)	
81 (p.85)	82 (p.85)			
91 (p.85)				

以下のエラーが表示されたときは



本機の表示パネルに「ERROR 01」が表示されたときは、インターフェースケーブルを本機とカメラにしっかり接続しなおしてください。

* このエラーは、カメラのモニターには表示されません。

* このエラーは、本機に対応していないカメラに接続したときにも表示されます。

「再転送待機中...」が表示されたときは



FTP転送で撮影後の画像転送に失敗すると、左図の画面が表示されます。また、本機の表示パネルにエラー番号が表示され、〈LAN〉ランプが赤色に点滅します。エラー番号を確認し、エラーの原因を取り除いてください。

エラーの原因が取り除かれると、転送に失敗した画像が自動的に再転送されます。

なお、転送をキャンセルしたり、カメラの電源を切った時は、自動再転送されません。42ページを参照して転送してください。

11： 接続先が見つかりません

- [EOSUtility] の場合、EOS Utilityは起動していますか？
- ➔ EOS Utilityを起動して、再度接続操作を行ってください (p.50)。
- 本機とアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？
- ➔ 暗号化の認証方式が「オープン」の設定で、暗号キーを間違えると、このエラーになります。
大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーを本機に設定してください (p.27)。

12： 接続先が見つかりません

- 接続先の機器やアクセスポイントの電源は入っていますか？
- ➔ 接続先の機器やアクセスポイントの電源を入れて、しばらくお待ちください。それでも接続できないときは、再度接続操作を行ってください。

21：DHCPサーバーからアドレスが割り当てられていません

本機の確認内容

- **本機の設定がIPアドレス [自動設定] になっています。この設定で間違いありませんか？**
 - ➔ DHCPサーバーを使用していない場合は、本機をIPアドレス [手動設定] にして設定を行ってください (p.94)。

DHCPサーバーの確認内容

- **DHCPサーバーの電源は入っていますか？**
 - ➔ DHCPサーバーの電源を入れてください。
- **DHCPサーバーから割り当てられるアドレスに余裕はありますか？**
 - ➔ DHCPサーバーが割り振るアドレスを増やしてください。
 - ➔ DHCPサーバーからアドレスが割り振られている端末を、ネットワークから外して減らしてください。
- **DHCPサーバーは正常に機能していますか？**
 - ➔ DHCPサーバーの設定を確認して、DHCPサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、DHCPサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

ネットワーク全体の確認内容

- **接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？**
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容を本機に設定してください (p.89、94)。
 - ➔ 本機を含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。



エラー 20番台の対応について

エラー 21～24が表示された場合は、以下の確認も行ってください。

本機とアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？

- ➔ 暗号化の認証方式が [オープン] の設定で、暗号キーを間違えるとこのエラーになります。大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーを本機に設定してください (p.27)。

22：DNS サーバーから応答がありません

本機の確認内容

- 本機の設定がDNSアドレス [手動設定] になっています。この設定で間違いありませんか？
 - ➔ DNSサーバーを使用していない場合は、本機をDNSアドレス [使わない] の設定にしてください (p.94)。
- 本機に設定しているDNSサーバーのIPアドレスは合っていますか？
 - ➔ 使用する DNS サーバーと同じ IP アドレスを本機に設定してください (p.89、94)。

DNSサーバーの確認内容

- DNSサーバーの電源は入っていますか？
 - ➔ DNSサーバーの電源を入れてください。
- DNSサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定していますか？
 - ➔ DNSサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定してください。
- DNSサーバーは正常に機能していますか？
 - ➔ DNSサーバーの設定を確認して、DNSサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、DNSサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

ネットワーク全体の確認内容

- 接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容を本機に設定してください (p.89、94)。
 - ➔ 本機を含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

23： ネットワーク上に同じ IP アドレスの機器が存在します

本機の確認内容

- 本機と同じネットワークに接続している機器が、本機と同じ IP アドレスを使用していませんか？
 - ➔ 本機の IP アドレスを変更して、同じネットワークに接続している機器と IP アドレスが重複しないようにしてください。または、IP アドレスが重複している他の機器の IP アドレスを変更してください。
 - ➔ DHCP サーバーを使用するネットワーク環境で、本機が IP アドレス [手動設定] の設定になっているときは、IP アドレス [自動設定] の設定にしてください (p.29)。

24： プロキシサーバーから応答がありません

本機の確認内容

- 本機の設定がプロキシサーバー [使う] の設定になっています。この設定で間違いありませんか？
 - ➔ プロキシサーバーを使用していない場合は、プロキシサーバー [使わない] の設定にしてください (p.33)。
- 本機に設定しているプロキシサーバーの [アドレスの設定] と [ポート番号] は、プロキシサーバーと同じ設定になっていますか？
 - ➔ プロキシサーバーと同じアドレス、ポート番号を本機に設定してください (p.33)。
- 本機のプロキシサーバーの設定内容は、DNS サーバーに正しく設定されていますか？
 - ➔ 設定したプロキシサーバーの [アドレス] が、DNS サーバーに正しく設定されているか確認してください。

プロキシサーバーの確認内容

- **プロキシサーバーの電源は入っていますか？**
 - ➡ プロキシサーバーの電源を入れてください。
- **プロキシサーバーは正常に機能していますか？**
 - ➡ プロキシサーバーの設定を確認して、プロキシサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
 - ➡ ネットワーク管理者がいるときは、プロキシサーバーのアドレスの設定とポート番号を聞いて、その内容を本機に設定してください。

ネットワーク全体の確認内容

- **接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？**
 - ➡ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容を本機に設定してください。
 - ➡ 本機を含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

41：FTP サーバーに接続できません

本機の確認内容

- 本機に設定しているFTPサーバーのIPアドレスは合っていますか？
➔ FTPサーバーと同じIPアドレスを本機に設定してください (p.32)。
- 本機とアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？
➔ 暗号化の認証方式が「オープン」の設定で、暗号キーを間違えるとこのエラーになります。
大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーを本機に設定してください (p.27)。
- 本機に設定しているFTPサーバーの「ポート番号設定」は、FTPサーバーで設定しているポート番号と合っていますか？
➔ ポート番号は通常21で、本機とFTPサーバーとも同じポート番号を設定します。FTPサーバーのポート番号を本機に設定してください (p.33)。
- 本機のFTPサーバーの設定内容は、DNSサーバーに正しく設定されていますか？
➔ 設定したFTPサーバーの「サーバー名」が、DNSサーバーに正しく設定されているか確認してください。また、使用するFTPサーバーの「サーバー名」が、本機に間違いなく設定されているか確認してください (p.32)。

FTPサーバーの確認内容

● FTPサーバーは正常に機能していますか？

- ➡ パソコンをFTPサーバーとして機能するように設定してください。
- ➡ ネットワーク管理者がいるときは、FTPサーバーのアドレスとポート番号を聞いて、その内容を本機に設定してください。

● FTPサーバーの電源は入っていますか？

- ➡ FTPサーバーの電源を入れてください。省電力モードで電源が切れている可能性もあります。

● FTPサーバーに設定しているIPアドレスは、本機に設定しているFTPサーバーの【アドレス】と合っていますか？

- ➡ FTPサーバーに設定しているIPアドレスと、本機に設定しているFTPサーバーのIPアドレスを、同じ設定にしてください (p.32)。

● セキュリティソフトウェアのファイアウォールを有効にしていますか？

- ➡ セキュリティソフトウェアによっては、ファイアウォールでFTPサーバーへの接続制限をかけている可能性があります。ファイアウォールの設定を変更して、FTPサーバーに接続できるようにしてください。
- ➡ 本機の設定で【パッシブモード】を【使う】にすると、FTPサーバーに接続できる場合があります (p.63)。

● ブロードバンドルーターを介してFTPサーバーに接続していませんか？

- ➡ ブロードバンドルーターによっては、ファイアウォールでFTPサーバーへの接続制限をかけている可能性があります。ファイアウォールの設定を変更して、FTPサーバーに接続できるようにしてください。
- ➡ 本機の設定で【パッシブモード】を【使う】にすると、FTPサーバーに接続できる場合があります (p.63)。

ネットワーク全体の確認内容

- 接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？
- ➔ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容を本機に設定してください (p.89、94)。
- ➔ 本機を含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

42：FTP サーバーから接続を拒否されました

FTPサーバーの確認内容

- FTPサーバーが、特定のIPアドレスのみ接続を許可する設定になっていませんか？
- ➔ [設定内容確認] (p.59) で本機のIPアドレスを確認して、FTPサーバーの設定を変更してください。

43：FTP サーバーに接続できません。サーバーからのリプライコードがエラーを示しています。

FTPサーバーの確認内容

- FTPサーバーで設定している最大接続数を超えて接続していませんか？
- ➔ FTP サーバーに接続しているネットワーク機器を少なくするか、FTPサーバーの設定で最大接続数を増やしてください。

44：FTP サーバーから切断できません。サーバーからのリプライコードがエラーを示しています。

- FTP サーバーに対する接続解除が、何らかの理由でうまくいかないときに表示されるエラーです。
- ➔ FTPサーバーとカメラの電源を入れなおしてください。

45： FTP サーバーにログオンできません。サーバーからのリプライコードがエラーを示しています。

本機の確認内容

- **本機に設定している【ログオン名】は正しいですか？**
 - ➔ FTPサーバーにログオンするログオン名を確認してください。また、大文字、小文字の使い分けも確認して、正しいログオン名を本機に設定してください (p.33)。
- **本機に設定している【ログオン・パスワード】は正しいですか？**
 - ➔ FTP サーバーにログオン・パスワードが設定されているときは、大文字、小文字の使い分けも確認して、正しいログオン・パスワードを本機に設定してください (p.33)。

FTPサーバーの確認内容

- **FTP サーバーのファイルアクセス権は、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定になっていますか？**
 - ➔ FTP サーバーのファイルアクセス権を、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定にしてください。
- **FTPサーバーで転送先に指定されているフォルダの名称は、すべてASCII文字で構成されていますか？**
 - ➔ フォルダ名をASCII文字で構成してください。

46： データセッションに対し、FTP サーバーからのリプライコードがエラーを示しています

FTPサーバーの確認内容

- FTPサーバーが接続を切断しました。
➔ FTPサーバーを再起動してください。
- FTP サーバーのファイルアクセス権は、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定になっていますか？
➔ FTP サーバーのファイルアクセス権を、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定にしてください。
- FTPサーバーの保存先フォルダにアクセス権を設定していませんか？
➔ 本機から転送された画像が保存できるよう、FTPサーバーにある保存先フォルダのアクセス権を設定してください。
- FTPサーバーの電源は入っていますか？
➔ FTP サーバーの電源を入れてください。省電力モードで電源が切れている可能性もあります。
- FTPサーバーのハードディスクがいっぱいになっていませんか？
➔ ハードディスクの空き容量を増やしてください。

47： FTP サーバーから、画像ファイルの転送完了通知を取得できませんでした

- FTP サーバーからの転送完了通知を、何らかの理由で受けられなかったときに表示されるエラーです。
➔ FTP サーバーとカメラの電源を入れなおし、画像を再度転送してください。

61： 同じ SSID の無線 LAN ネットワークが見つかりません

- アクセスポイントのアンテナと本機の間に、見通しをさえぎる障害物はありませんか？
- ➡ アクセスポイントのアンテナを、本機からよく見える場所に移動させてください。

本機の確認内容

- 本機にアクセスポイントと同じSSIDを設定していますか？
- ➡ アクセスポイントのSSIDを確認して、同じSSIDを本機に設定してください (p.26)。

アクセスポイントの確認内容

- アクセスポイントの電源は入っていますか？
- ➡ アクセスポイントの電源を入れてください。
- MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用している本機のMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？
- ➡ 使用している本機のMACアドレス (p.67) をアクセスポイントに登録してください。

62： 無線 LAN 端末からの応答がありません

本機の確認内容

- 本機が、インフラストラクチャーで通信する設定になっていませんか？
- ➡ 本機を、アドホックで通信する設定にしてください。

アクセスポイントの確認内容

- アドホックで通信するためのアクセスポイントが近くにありますか？
- ➡ アドホックに設定したアクセスポイントを、本機の近くに用意してください。

63： 無線 LAN の認証に失敗しました

- 本機とアクセスポイントで、同じ認証方式を設定していますか？
- ➔ 本機で設定できる認証方式は、[オープン]、[共有キー]、[WPA/WPA2-PSK] です (p.22)。
- 本機とアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？
- ➔ 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーを本機に設定してください (p.27)。
- MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用している本機のMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？
- ➔ 本機のMACアドレス (p.67) をアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは [機能設定] 画面 (p.66) で確認できます。

64： 無線 LAN 端末に接続できません

- 本機とアクセスポイントで、同じ暗号化方式を設定していますか？
- ➔ 本機で設定できる暗号化方式は、WEP、TKIP、AESです (p.22)。
- MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用している本機のMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？
- ➔ 使用している本機のMACアドレス (p.67) をアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは [機能設定] 画面 (p.66) で確認できます。

65： 無線 LAN の接続が切れました

- アクセスポイントのアンテナと本機の間に、見通しをさえぎる障害物はありませんか？
- ➡ アクセスポイントのアンテナを、本機からよく見える場所に移動させてください。
- 何らかの理由で、無線LANの接続が切れ、再接続できない状態になっています。
- ➡ アクセスポイントにほかの端末からのアクセスが集中している場合や、電子レンジなどが近くで使用されている場合（IEEE 802.11n/g/b（2.4GHz帯））、雨天や高湿度などの影響が考えられます。

66： 無線 LAN の暗号キーが違います

- 本機とアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？
- ➡ 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーを本機とアクセスポイントに設定してください（p.27）。
なお、暗号化の認証方式が「オープン」の場合は、「エラー 41：FTPサーバーに接続できません」が表示されます。

67： 無線 LAN の暗号方式が違います

- 本機とアクセスポイントで、同じ暗号化方式を設定していますか？
- ➔ 本機で設定できる暗号化方式は、WEP、TKIP、AESです (p.22)。
- MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用している本機のMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？
- ➔ 使用している本機のMACアドレス (p.67) をアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは [機能設定] 画面 (p.66) で確認できます。

68： 無線 LAN 端末に接続できませんでした。始めからやり直してください。

- アクセスポイントのWPS (Wi-Fi Protected Setup) ボタンは、アクセスポイントで指示されている時間押しつづけましたか？
- ➔ WPSボタンをアクセスポイントの使用説明書で指示されている時間押しつづけてください。
- アクセスポイントのすぐ近くで接続操作をしていますか？
- ➔ 両方の機器にすぐ手が届く距離で接続操作を行ってください。

69： 複数の無線 LAN 端末を検出したため、接続できませんでした。始めからやり直してください。

- ほかのアクセスポイントがWPS (Wi-Fi Protected Setup) のPBC方式 (プッシュボタン接続方式) で接続操作を行っています。
- ➔ しばらく待ってから接続操作を行うか、PIN方式 (ピンコード接続方式) で接続操作を行ってください (p.24)。

81：有線 LAN の接続が切れました

- LANケーブルはしっかり接続されていますか？
 - ➡ 本機からサーバーにかけての LAN ケーブルを接続しなおしてください。また、ケーブルが断線している可能性もありますので、別のケーブルを接続してみてください。
- ハブやルーターの電源は入っていますか？
 - ➡ ハブやルーターの電源を入れてください。
- サーバーの電源は入っていますか？
 - ➡ サーバーの電源を入れてください。省電力モードで電源が切れている可能性もあります。

82：ワイヤレスファイルトランスミッターが接続されていません

- 本機は正しく取り付けられていますか？
 - ➡ 本機とカメラが正しく取り付けられているか確認してください (p.15)。

91：その他のエラー

- エラー 11～82以外の異常が発生しました。
 - ➡ カメラの電源スイッチを入れ直してください。

無線機能での注意事項

無線機能使用時に「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」、「映像が滑らかに表示されない」などの現象が起きたときは、下記の例を参考にして対応してみてください。

アクセスポイント、またはアンテナの設置場所について

- 室内で使用する場合、撮影している部屋に設置してください。
- 本機との間に、人や遮蔽物が入らない場所に設置してください。

近くにある電子機器について

下記の電子機器の影響で無線LANの通信速度が遅くなるときは、電子機器の使用をやめるか、機器から離れた場所で通信を行ってください。また、有線LANにすると問題を解消することができます。

- 本機のIEEE 802.11b/g/nで、2.4GHz帯の電波を使用して無線LANの通信を行っているときは、同じ周波数帯を使用するBluetooth機器や電子レンジ、コードレス電話機、マイク、スマートフォンなどを使うと無線LANの通信速度が遅くなります。

ワイヤレストランスミッターを複数使うときの注意

- 1つのアクセスポイントに、ワイヤレストランスミッターを取り付けたカメラが複数接続するときは、カメラのIPアドレスが重複しないよう注意してください。
- 1つのアクセスポイントに、ワイヤレストランスミッターを取り付けたカメラが複数接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11n/g/b（2.4GHz帯）のアクセスポイントが複数あるときは、電波干渉を少なくするために、無線LANのチャンネルを、「1/6/11」、「2/7/12」、「3/8/13」というように4チャンネル分、間を開けてください。
IEEE 802.11n/a（5GHz帯）が使用できるときは、IEEE 802.11n/a（5GHz帯）に切り換えて、異なるチャンネルを設定してください。

セキュリティーについて

セキュリティーに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受

悪意ある第三者によって無線LANの電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。

- ネットワークへの不正アクセス

悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、ネットワークのセキュリティーを確保するための仕組みや機能を使用することをおすすめします。

ネットワークの設定を確認する

● Windowsの場合

Windowsの[コマンドプロンプト]を開き、`ipconfig /all`と入力して〈Enter〉キーを押します。

パソコンに割り当てられているIPアドレスのほかに、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバーの情報が表示されます。

● Mac OSの場合

Mac OS Xの[ターミナル]を開き、`ifconfig -a`と入力して〈Return〉キーを押します。[en0] 項目 [inet] の `***.***.***.***` がパソコンに割り当てられているIPアドレスです。

*[ターミナル] については、Mac OS Xのヘルプを参照してください。

なお、94ページでカメラに割り当てるIPアドレスを設定するときは、パソコンやほかのネットワーク接続機器とIPアドレスが重複しないよう、一番右側の数字を変えて設定します。

例) 192.168.1 (10)

[illegible]

7

資料

キャプションの作成と登録

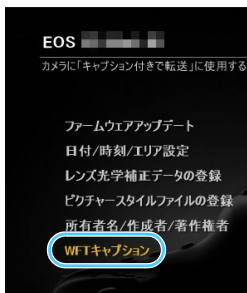
『キャプション付きで転送する』(p.46)のページで説明した、キャプションを作成してカメラに設定します。キャプションの作成と登録は、EOS Utilityがインストールされたパソコンを使用して行います。

49ページからの「EOS Utilityでリモート操作」を参照して、LAN接続でEOS Utilityが使えるようにしておいてください。



1 EOS Utilityを起動して【カメラの設定】を選ぶ

→ カメラの設定画面が表示されます。



2 【WFTキャプション】を選ぶ

→ キャプション作成画面が表示されます。

「キャプション付きで転送」に使用する文字列を登録します。

1	Canon
2	1
3	2
4	3
5	4

3 キャプションを入力する

- ASCII（アスキー）文字を 31 文字まで入力できます。
- 「設定取得」を選ぶと、カメラに設定されているキャプションデータを取得します。

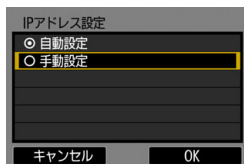
16	11
13	12
14	13
15	14

4 キャプションをカメラに設定する

- 「カメラに登録」を選ぶと、作成したキャプションがカメラに設定されます。

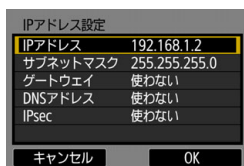
IPアドレスを手動で設定する場合

IPアドレス設定を手動で行います。なお、表示される項目は通信方法によって異なります。



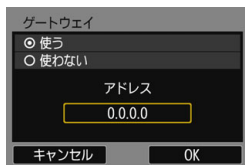
1 【手動設定】を選ぶ

- 【OK】を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



2 設定する項目を選ぶ

- 項目を選んで〈SET〉を押すと、数値の入力画面が表示されます。
- ゲートウェイ、DNSアドレス、IPsecを使う場合は、【使う】を選んでから【アドレス】を選び、〈SET〉を押します。



3 数値を入力する

- 〈〉を回して上側の入力場所を選び、〈◀〉〈▶〉で入力する数値を選びます。〈SET〉を押すと選んだ数値が入力されます。
- 〈MENU〉ボタンを押すと、入力を確定して手順2の画面に戻ります。

IPアドレス設定

IPアドレス	192.168.1.3
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	使わない
DNSアドレス	162.168.11.1
IPsec	使わない

キャンセル OK

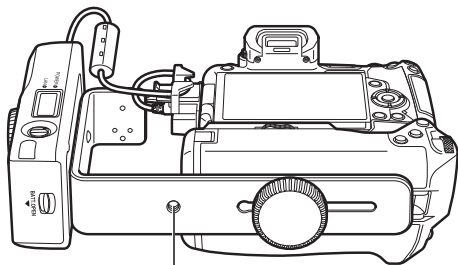
4 [OK] を選ぶ

- 必要な項目の設定が完了したら [OK] を選び、〈SET〉を押します。
- ➔ 通信方法に応じた設定画面が表示されます。
- 設定する内容が分からない場合は、『ネットワークの設定を確認する』（p.89）を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。

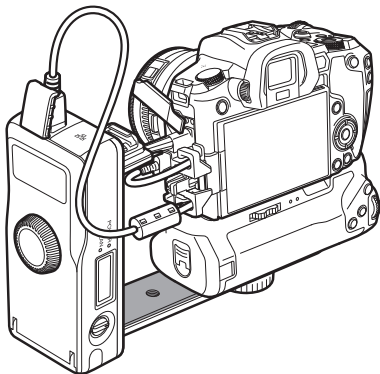
ブラケット（別売）を使う

別売のアクセサリブラケットAB-E1は、バッテリーグリップと本機を併用するときなどに使用します。

図のように本機とカメラをブラケットに取り付けます。



三脚ねじ穴



主な仕様

■ 型式

型式.....有線LANとIEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n無線LAN対応・画像転送アクセサリ（IPsec対応）。Bluetooth機能（GPS機器接続用）内蔵
* EOS RではBluetooth接続機能は使用できない

■ 無線LAN

準拠規格.....IEEE802.11a
IEEE802.11b
IEEE802.11g
IEEE802.11n
伝送方式.....DS-SS変調方式（IEEE802.11b）
OFDM変調方式（IEEE802.11g、IEEE802.11a、IEEE802.11n）
通信距離.....約150m
* 送受信アンテナ間に障害物、遮蔽物がなく、他の機器との電波干渉がない場合
* アクセスポイントに高性能大型アンテナを設置している場合

送信周波数（中心周波数）

タイプ	周波数	チャンネル
WFT-E7A (Ver.2)	2412~2462MHz	1~11ch
	5180~5320MHz	36~64ch
	5745~5825MHz	149~165ch
WFT-E7B (Ver.2)	2412~2472MHz	1~13ch
	5180~5320MHz	36~64ch
	5500~5700MHz	100~140ch
WFT-E7C (Ver.2)	2412~2472MHz	1~13ch
	5745~5805MHz	149~161ch
WFT-E7D (Ver.2)	2412~2462MHz	1~11ch
	5280~5320MHz	56~64ch
	5500~5700MHz	100~140ch
WFT-E7E (Ver.2)	2412~2472MHz	1~13ch
	5180~5320MHz	36~64ch
	5500~5700MHz	100~140ch
	5745~5825MHz	149~165ch

主な仕様

接続方法	インフラストラクチャーモード、アドホックモード * Wi-Fi Protected Setup対応
セキュリティ	認証方式：オープン、共有キー、WPA/WPA2-PSK 暗号化：WEP、TKIP、AES

■ 有線LAN

Ethernet	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T
----------------	--------------------------------

■ LAN機能

FTP転送	撮影時自動転送 画像選択/転送 SET ボタンで転送 キャプション付きで転送 * FTPS対応
EOS Utility	EOS Utilityのリモートコントロール機能を有線LAN、無線LANで実現

■ 電源

使用電池	バッテリーパックLP-E6N（またはLP-E6）1 個使用
電池チェック	自動

■ 撮影可能枚数の目安

[撮影時自動転送] 時の撮影可能枚数の目安 約 [枚]

LAN	常温 (23℃)	低温 (0℃)
無線LAN	1800	1700
有線LAN	1600	1500

* フル充電のバッテリーパック LP-E6N使用、[節電機能：使う] 設定時、CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準による

* 無線LANで連続して画像転送を行うと、転送可能枚数が少なくなる

■ 大きさ・質量

大きさ 134.1（幅）× 31.1（高さ）× 62.2（奥行）mm

質量 約 165g（本体のみ）

■ 動作環境

使用可能温度 0℃～+40℃

使用可能湿度 85%以下

- 記載データはすべて当社試験基準、またはCIPA試験基準/ガイドラインによります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断により、修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、見本の撮影データやプリントを添付するなど、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

商標について

- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Wi-Fi CERTIFIEDロゴおよびWi-Fi Protected SetupマークはWi-Fi Allianceの商標です。
- カメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- UPnPは、UPnP Implementers Corporationの商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

索引

英数字

1枚ずつ転送	37
ACアダプター	14
AES	22
DHCPサーバー	29
DNSアドレス	94
DNSサーバー	89
EOS Utility	19, 49, 52
ESS-ID	26
Ethernet用RJ-45端子	10
FTPS	32
FTPサーバー	31
FTP転送	18, 31
FTPモード	32
IEEE 802.11n/a/g/b	別紙
IPsec	61
IPアドレス	29, 32, 94
JPEG	40
LANケーブル	21
MACアドレス	22, 50, 67
PBC方式	23
PIN方式	24
RAW	40, 45
RAW+JPEG	40, 45
SETボタンで転送	39
SSID	26
TCP/IP	60
TKIP	22
WEP	22
WPA/WPA2-PSK	22
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	22

あ

アドホック	81
暗号化の設定	22
暗号キー	27
一括転送	42
エラー	70
エラー番号	10
オープン	22

か

画像転送	31
家庭用電源	14
キーボード	28
機能設定	66
キャプション	46, 92
共有キー	22
ゲートウェイ	94

さ

再接続	55
再転送	41
撮影後に転送	42
サブネットマスク	89, 94
自動転送	37
使用可能地域	別紙
ステルス機能	22
接続ウィザード	20
設定内容	64
保存	64
読み込み	65
節電機能	67
セット名	60

た	
チャンネル	別紙
通信マーク	10
転送先フォルダ	47, 62
転送された画像	47
転送履歴	43
電池	12
電池チェック	13
同名ファイル	62
トラブルシューティング	69

な	
認証方式	22, 61
ネットワーク	17

は	
パッシブモード	33, 63
バッテリー	12
表示パネル	10
ピンコード接続方式	24
フォルダ	34, 47
フォルダ指定	34
プッシュボタン接続方式	23
プロキシサーバー	33
ペアリング	50
ポート番号	33
保存先	34, 47

ま	
まとめて転送	42
無線LAN規格	別紙

や	
有線LAN	21

ら	
リモート撮影	52
ログオン方法	33
わ	
ワイファイ プロテクトッド セットアップ	22

[illegible]



キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

●製品情報や取り扱い方法に関するご相談窓口

製品に関する情報や、よくあるお問い合わせなどのサポート情報を掲載しています。
インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

EOSホームページ : canon.jp/eos

EOS・サポートナビ : canon.jp/eos-navi

CANON iMAGE GATEWAY : ptl.imagegateway.net

※ お電話でのお問い合わせの場合

お客様相談センター 050-555-90002

受付時間：9：00～18：00

(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556をご利用ください。

※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

●修理のお問い合わせ・お申し込み

らくらく修理便

- ・らくらく修理便（引取修理）のお申し込み：canon.jp/repair
- ・修理品持ち込み窓口一覧：
<http://cweb.canon.jp/e-support/repair/list.html>
- ・電話でのお申し込み：050-555-99077



リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意ください
国内・国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出品されていますので十分にご注意ください。詳細は以下のURLをご覧ください。
<http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html>

本書の記載内容は2018年8月現在のものです。それ以降に発売された製品との組み合わせにつきましては、上記のお客様相談センターにお問い合わせください。なお、最新の使用説明書については、キヤノンのホームページをご覧ください。